

一般財団法人山下太郎顕彰育英会 奨学生 募集にあたって

財団法人 山下太郎顕彰育英会設立趣意書

我が国経済は近時急速なる発展を遂げ、世界有数の経済大国と云われるまでに成長いたしました。この原動力となったものが我国民一人一人の資質の高さにあったことは言をまちません。

格別の物的資源を持たない我が国にとって、人的資源こそは唯一究極の財であり立国の基盤であります。

我が国の先人たちはこの一点を洞察して早くより教育に力を注ぎ、国民の能力向上をはかるべく様々な施策を実施して不断的努力を重ね、その結果として今日の我が国の繁栄がもたらされましたことは同慶の至りであります。

しかしながら、一方で豊かさの恩恵に浴さない人々がなお多数いることも看過しえない事実であります。

世界は日々変動し、今日その主要な構成員となった我が国が世界平和と繁栄のために担わなければならない役割は山積しており、立ちふさがる諸問題を解決し、来たるべき 21 世紀を実りある世紀とするためには、以前にも増して教育の振興が片時もゆるがせにしない事柄であります。

戦後アラビア石油株式会社を興した山下太郎は、生前、教育の重要性を深く認識し、その出身地、秋田県大森町に対し、奨学金を 20 年間に亘り寄附する他、高校建設資金を寄附、また出身校北海道大学に生化学研究所を寄贈する等、個人的に教育への助成、振興に情熱を燃やしてまいりました。

平成元年は、山下太郎生誕 100 周年に当たり、この記念のときに、山下太郎を顕彰し、その遺徳を実現するために、向学心に燃える前途有為の学徒等に対して奨学援助を行い、また、学術研究を行っている研究者、研究団体に対する研究助成等を行ない、もって社会有用の人材育成の一助を担い、青少年教育の振興に寄与するため、財団法人山下太郎顕彰育英会を設立しようとするものである。

平成元年 9 月 8 日

設立者 山 下 文 子

財団法人山下太郎顕彰育英会設立の趣意に基づいて、令和 8 年入学の大学奨学生を募集いたしますので、多数の皆様が積極的に応募されますようご案内申し上げます。

令和 8 年 1 月

一般財団法人山下太郎顕彰育英会

理事長 山 下 和 男

奨 学 生 募 集 要 項

1 応 募 資 格

秋田県出身で、令和8年に大学（短期大学を除く）へ入学し、1学年に在籍する者（新入生に限る）のうち、次の①および②のいずれか一方または両方に該当する者としてします。

- ① 学業及び人物ともに優秀で、かつ健康であると認められる者。
- ② スポーツ、文化・芸術分野において、全県レベルの大会等で3位以上の成績、又はそれと同等の実績を有し、その技術・技能向上を目的に進学した者。

※他の育英団体等にも併願することはできますが、もし、他の育英団体等から奨学金の給貸与を受ける事になった場合は本会事務局へ連絡していただきます。また、他の育英団体等のなかには併願・併用を認めないものもありますので、事前に当該団体に確認してください。

※高校奨学生の募集は、公立・私立ともに休止しています。

2 募 集 人 員

大学奨学生 15名以内

3 奨学金の貸与と返還の条件

（1）貸与月額

大学奨学生 50,000円

（2）貸与期間

入学月から在学する学校の正規の最短修業年限までとします。

（3）貸与方法

本人名義の預金口座へ毎月振り込みます。

（4）返還期間

上記貸与期間の2倍の期間内とします。（無利息）

（5）返還方法

返還総額を返還期間で除した額を年返還額とし、貸与の終了した月の翌月から起算して1年を経過後、年1回、2回、3回、6回の何れかの方法により、均等額を返還していただきます。ただし、年返還額に千円未満の端数が生じたときは、この額を初年度の返還額に加えるものとします。

なお、貸与終了後、大学院等に在学の場合は、願出により返還を猶予することがあります。

(6) 返還免除

正規の最短修業年限を以て卒業したときは、貸与した奨学金総額の80%を返還免除とします。

4 提出書類

(①～③は全て手書きにて記入、④、⑤は高校に依頼して取得)

- ① 奨学金貸与申請書（本会所定の用紙）
- ② 特色ある技術・技能の実績リスト（本会所定の用紙、該当者のみ提出、実績リストの内容を証明する書類（賞状のコピー等）を添付）
- ③ 作文 A4サイズ横書用400字詰原稿用紙2枚以内
テーマ「30歳のわたし」（30歳の自分をイメージし、自らの目標達成に向けた取り組みや、自己成長のためにチャレンジしたいことなど）
- ④ 推薦書（本会所定の用紙）
- ⑤ 調査書（成績証明書は不可、開封無効）
- ⑥ 大学の在学証明書（秋期入学の場合は入学を証明するもの）
- ⑦ 申請者本人の住民票の写し1通（本籍記載、本年4月発行のもの）
- ⑧ 連帯保証人の住民票の写し1通（本籍記載、本年4月発行のもの）

※奨学金貸与申請書に記載する連帯保証人とは、本人の父母またはそれに代わる者とします。

※特色ある技術・技能の実績リストは該当者（スポーツ、文化・芸術分野において、全県レベルの大会等で3位以上の成績、又はそれと同等の実績を有し、その技術・技能向上を目的に進学した者）のみ提出してください。

※住民票について、出身地確認の為、本籍は省略せずに交付申請してください。また、本人と連帯保証人が同一世帯である場合も別々で交付申請してください。

(注) 提出書類は採用の可否を決定する重要な書類です。提出書類の不足や記入不備の場合、選考から除外することもあります。また、採用の可否にかかわらず提出書類は返却しません。

5 出 願 期 間

令和8年4月1日から令和8年4月24日17時（必着）

6 申請書類の請求及び出願先（お問い合わせ先）

一般財団法人山下太郎顕彰育英会

〒013-0521 秋田県横手市大森町字大森145番地

電話：0182-26-3500 本会ホームページ：<https://yamaiku.jp/>

メールアドレス：yamaiku@ce.wakwak.com

※申請書類は、本会事務局窓口で直接または郵送による請求、あるいは上記ホームページにてダウンロードも可能です。郵送による請求の場合は、封筒表面に「奨学金申請書類請求」と明記し、中に「住所、氏名、フリガナ、年齢、電話番号」を記載した書面と180円分の切手を同封してください（返信用封筒は必要ありません）。

※出願については、本会事務局窓口へ直接持参、または郵送。期限厳守。

7 選考について

提出された書類をもとに学識経験者で構成する選考委員会の選考を経て、理事会で最終決定します。

8 採 用 発 表

令和8年6月中旬（予定）までに、**申請者全員に採用の可否を文書で通知**します。

※通知文書は奨学金貸与申請書に記載された申請者の現住所宛に郵送します。

※採用の可否について、電話等による直接のお問い合わせには、お答えいたしかねますので、その旨ご了承ください。

9 そ の 他

申請書と提出された個人に関する情報については、この奨学金の申込み及び貸与（返還）業務など、本会の事業活動及びこれに付随する業務を行う範囲内で利用させていただきます（個人情報、ご本人の同意を得た場合又は法令の定めがある場合を除き、第三者に提供することはいたしません）。

※詳しくは本会ホームページに掲載されている「奨学金貸与規程」をご覧ください。

奨学金貸与申請書 記入例

奨一様式第1-1号

一般財団法人山下太郎顕彰育英会理事長 殿

2026 年 4 月 △△日
(提出日または投函日)

貼 写

付 真

約3.5cm×2.5cm

訂正箇所は二重線を引いて、
線上に申請者印を押印し余白に書き直す

申請者 本 籍 秋田県秋田市××町2-2-1-1
〒980-0000
現 住 所 宮城県仙台市××区××町2-2-2(注1)
××ハイツ101号
(ふりがな) あ き た ○ ○ こ
氏 名 秋 田 ○ ○ 子
生年月日 2007 年 5 月 20 日生 (18 歳)
電話番号 080-0000-0000

〒010-0000
連帯保証人 現 住 所 秋田県秋田市××町3-3
氏 名 秋 田 □ 郎
電話番号 090-0000-0000

一般財団法人山下太郎顕彰育英会奨学金貸与申請書

次により、一般財団法人山下太郎顕彰育英会奨学金の貸与を受けたいので関係書類を添えて申請します。

希望貸与期間	2026 年 4 月から 20XX 年 3 月まで (計 △△ 箇月) →(注2)			
在学している	名 称	〇〇大学	学部・学科名	〇〇学部〇〇学科
	入学年月日	2026 年 4 月 △ 日 入学		
学 校 等	所 在 地	〒980-0000 宮城県仙台市××区××町9-9		

(注1) 本年4月時点の現住所を記入

(注2) 本年4月から各校の正規の最短修業年限までの期間を記入

申請者氏名 秋田 ○○子

中学校卒業 以後の学歴	2023 年 3 月 ○○市立○○中学校 卒業						
	2023 年 4 月 ○○高等学校○○科 入学						
	2026 年 3 月 同 校 卒業						
	2026 年 4 月 ○○大学○○学部 入学						
	年 月						
	年 月						
連帯保証人	氏 名	秋 田 □ 郎		性別	男	本人との続柄	父
	生年月日	1971 年 9 月 20 日			職 業	会 社 員	
	本 籍	〒010-0000 秋田県秋田市××町1-1					
	現 住 所	〒010-0000 秋田県秋田市××町3-3					
家族及び生計 の 状 況	続柄	氏 名	年齢	同居別 居の別	職 業 (勤務先)	年 収 (税込)	
	父	秋 田 □ 郎	54	別居	会社員 (株式会社○○○)	637万円	
	母	秋 田 ○ 美	48	別居	パート職員 (○商店株式会社)	122万円	
	弟	秋 田 □ 男	17	別居	高校生 (○○高等学校)		
	祖母	秋 田 ○ 子	71	別居	無職	100万円 (年金)	

特色ある技術・技能の実績リスト 記入例

奨一様式第5号

申請者記入欄

申請者氏名 秋田 ○○子

種目・分野： ○○○○○○ 高校在学中の所属： ○○高校○○○部

種目・分野： ○○○○○○ 大学在学中の所属： ○○大学○○○部

指導責任者記入欄

指導責任者意見（活動の様子、人物の所見）

特色ある技術・技能の実績リスト			
年 月	名 称 (大会・展覧会・発表会等)	実 績 (優勝、○位入賞等) ※全県3位以上または それと同等の実績のみ記載	備 考 ※団体等の場合は役割を記載
2024年○月	第○○回全国高等学校 ○○○選手権秋田大会	優 勝	○○として出場
2025年○月	第○○回全国高等学校 ○○○選手権大会	準優勝	○○として出場
<div>紙面が足りない場合は 必要枚数分 様式を印刷し追加すること その場合「指導責任者記入欄」は 最終ページのみ記入し提出すること</div>			

2026 年 ○ 月 ○ 日

所属・役職名 ○○高校○○○部 顧問

指導責任者氏名 佐藤 ○○

※指導責任者に異動などがあった場合は、後任者または外部顧問の記載を受けること。

※スポーツ、文化・芸術分野において、全県レベルの大会等で3位以上の成績、又はそれと同等の実績を有し、その技術・技能向上を目的に進学した者は受賞歴・大会等の詳細をこのリストに記載、提出すること。
※記載内容を証明する書類（賞状、入選の際の掲載記事、作品等の写真など）のコピーを添付する。なお、記載するのは高校在学中の実績のみとする。